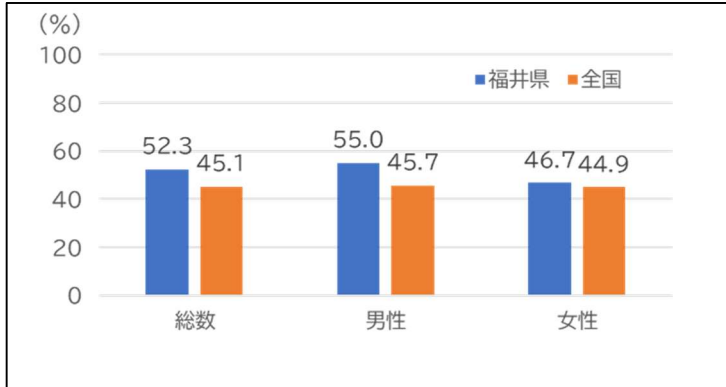


本県の歯科に関する現状・課題（成人・こども）等

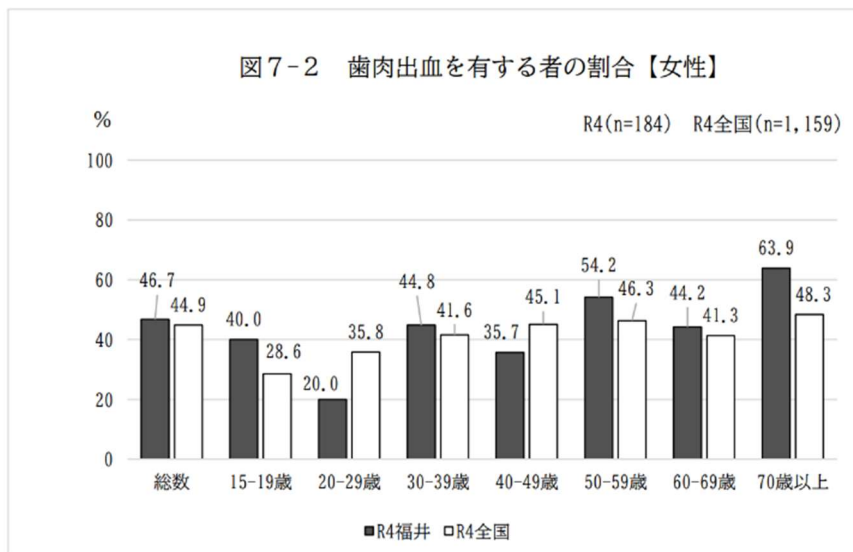
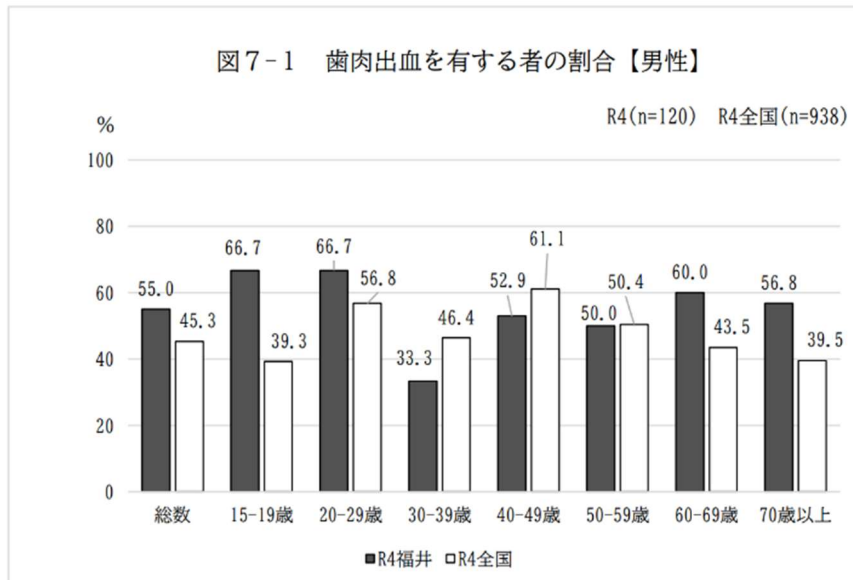
●歯肉出血を有する者の割合

（県：R4 県民歯科疾患実態調査、国：R4 歯科疾患実態調査）



→ 歯肉出血を有する者の割合は、男性は 55.0%、女性は 46.7%で男女ともに全国より高い。

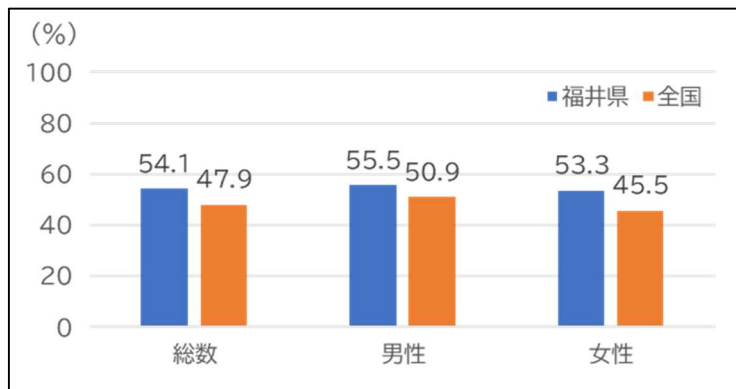
【性別・年齢別】（R4 歯科疾患実態調査 結果概要より抜粋）



●歯周ポケット4mm以上の者の割合

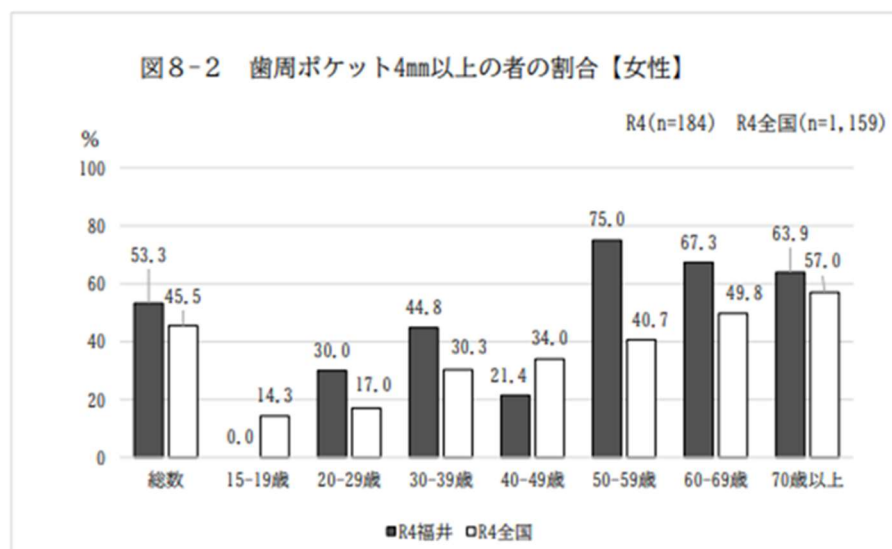
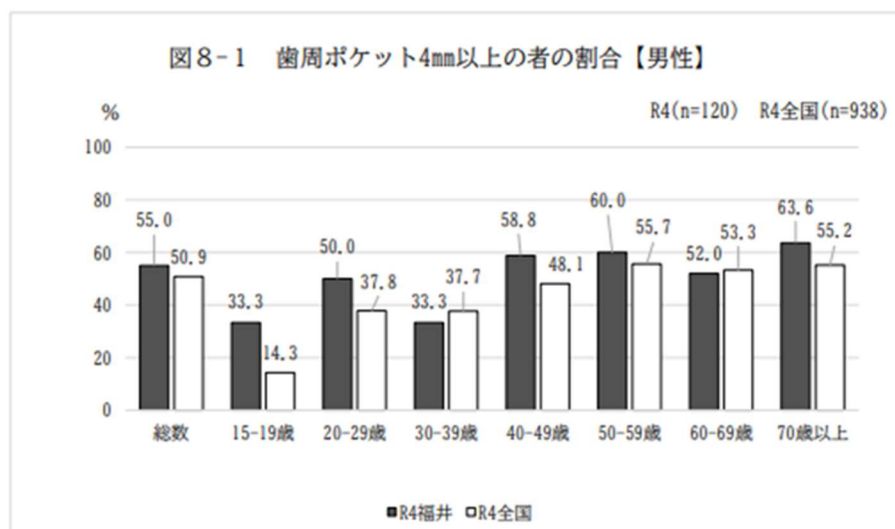
歯周ポケットとは・・・歯と歯茎の境目にある溝。正常な状態の時は1～3mm程度の深さだが、4mmは歯周病の初期段階であり、4mm以上になると歯垢や歯石がポケットの奥にたまり病気が進行しやすくなる。

(県：R4 県民歯科疾患実態調査、国：R4 歯科疾患実態調査)

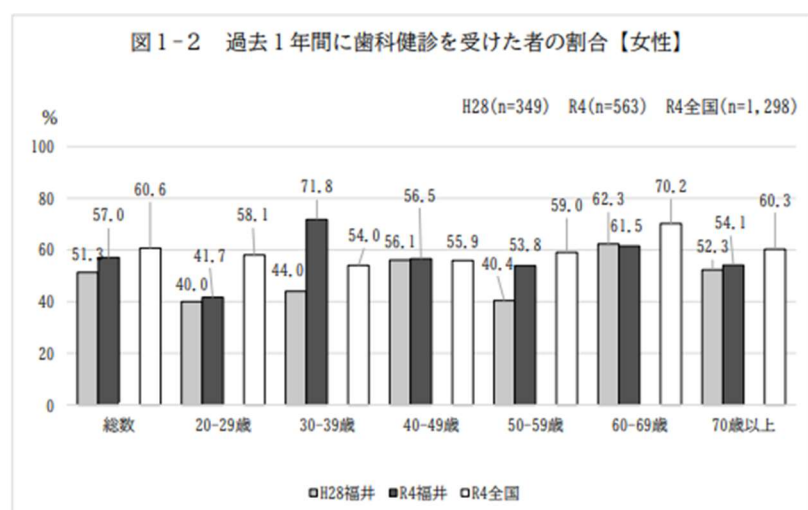
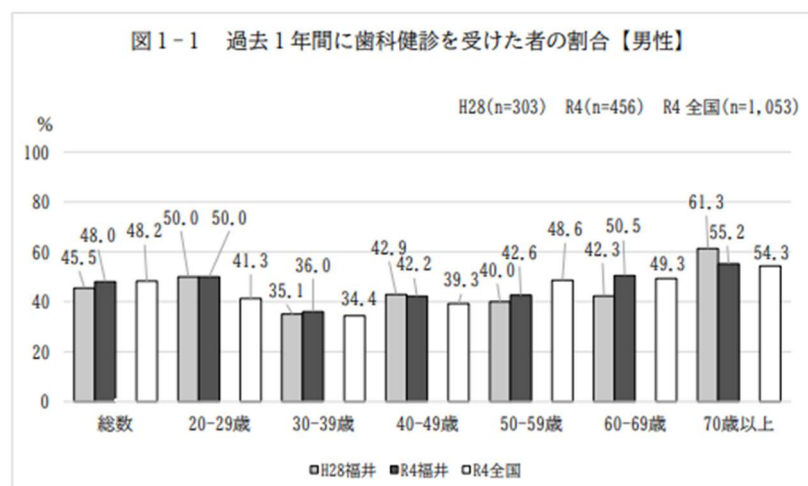


→ 歯周ポケット4mm以上の者の割合は、男性は55.0%、女性は53.3%で男女ともに全国より高い。

【性別・年齢別】(R4 歯科疾患実態調査 結果概要より抜粋)



●過去１年間に歯科健診を受けた者の割合（R4 歯科疾患実態調査 結果概要より抜粋）



- 過去１年間に歯科健診を受けた者の割合は、男性は 48.0%で全国と同程度、女性は 57.0%で全国より 3.6 ポイント低い。
- ・調査当時の「第４次元気な福井の健康づくり応援計画」で定めていた目標値（65%）を未達成

●健康増進法に基づく歯周疾患検診について

・本県の現状

	対象者数	受診者数	受診率
令和3年度	33,085 人	2,731 人	8.25%
令和4年度	36,267 人	2,832 人	7.81%
令和5年度	42,020 人	3,206 人	7.63%
令和6年度	49,610 人	3,721 人	7.50%

※R3～R6 健康増進事業補助金実績報告から算出

・年代別受診割合（令和5年度）（推計）

	受診者数（※1）	受診割合（※2）
40 歳	580 人	6.91%
50 歳	761 人	6.62%
60 歳	786 人	8.17%
70 歳	922 人	9.07%

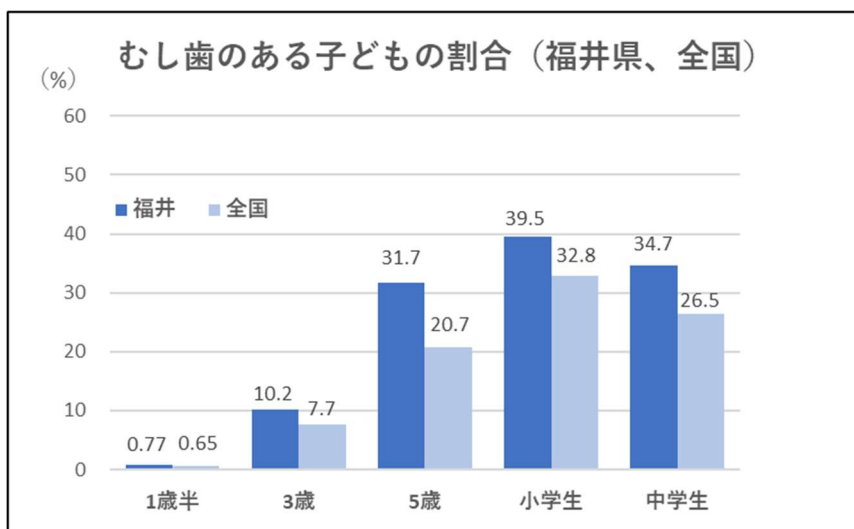
（※1）R5 地域保健・健康増進事業報告

（※2）受診者数÷福井県の人口推計（年齢別）（R5.10.1時点）

★健康増進法に基づく歯周疾患検診の実施について

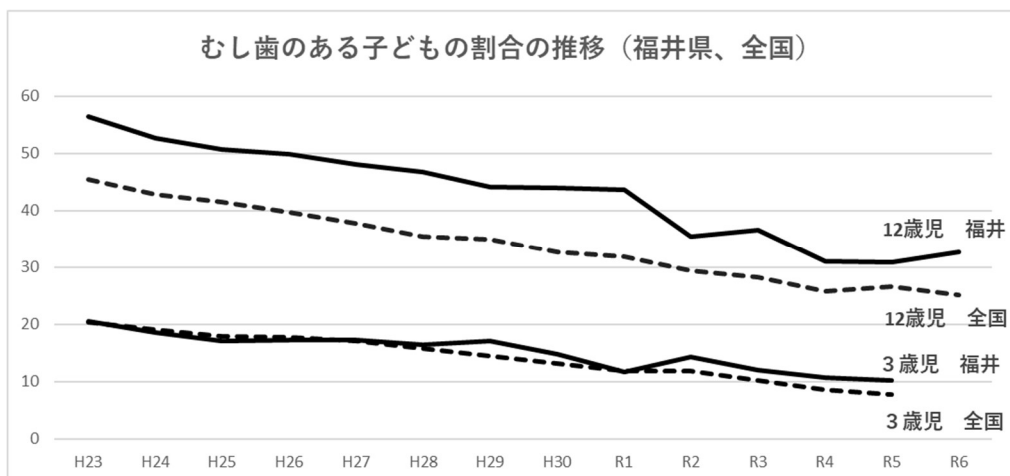
- ・実施主体は各市町
- ・検診の対象年齢：20 歳～70 歳の 10 歳刻み（市町により実施していない年齢等あり）
（20 歳、30 歳については、令和6年度から追加）
- ・費用：無料（あわら市のみ自己負担金あり）
- ・検診の実施方法：市町により実施方法が異なる（集団健診会場で実施・個別歯科医院で実施・両方）
- ・検診の実施時期等：受診券の送付時期は5月～6月頃、
検診実施期間は6、7月頃～1、2月末頃（12月で終了する市町もあり）

●むし歯のあるこどもの割合（R5 地域保健・健康増進事業報告、R5 学校保健統計調査）



→・むし歯のあるこどもの割合は全国平均を上回っており、特に5歳は31.7%と全国より11.0%上回っている。

●むし歯のあるこどもの割合の推移（乳幼児歯科健診、学校保健統計）



●フッ化物応用について

フッ化物を用いて、歯質のむし歯抵抗性（耐酸性の獲得・結晶性の向上・再石灰化の促進）を高めてむし歯を予防する方法。厚生労働省によると、有効性・安全性に関する証拠が確認されている。

○参考ホームページ

- ・厚生労働省（健康日本 21 アクション支援システム ～健康づくりサポートネット～）

フッ化物利用（概論）

<https://kennet.mhlw.go.jp/information/information/teeth/h-02-006>

フッ化物洗口

<https://kennet.mhlw.go.jp/information/information/teeth/h-02-009>

フッ化物歯面塗布

<https://kennet.mhlw.go.jp/information/information/teeth/h-02-008>

- ・福井県健康づくり応援サイト「歯の健康」

<https://www.kenko-seisaku.pref.fukui.lg.jp/dental-health/>